

海濱砂場ノおにしばニ三種アル

デアル、髓線(M₂)ハ略長方形ノ細胞カラ出來テ居テ其細胞膜ガ少シ厚クテ孔紋ガヨク見エルソシテ十八μ位迄ノ澱粉粒ガアリ長サ約十八μ迄ノ小針晶ト三十五μ迄ノ大キナ柱狀結晶又ハ板狀結晶(M₁)ガアル、導管部ノ内側ニ接スル所ハ其細胞膜ガ薄イ其次ニハ又内鞘(L₂)ガアツテ略七μ位ノ小澱粉粒ト少數ノ小針晶ガアル其内ハ又韌皮デ次ニ材部ガアリ之ヲ何回カ繰リ返シテ居ルソシテ中心ニハ髓ハナイノデアル
枝幹デ根ト違フノハ中央ニ大キナ髓ノアル事其他ニハ一番内側ノ内鞘ノ外ニ接シテ明カナ纖維束ガアル併シ第二回目以下ノ篩部ノ外側ニハ纖維束ハナイ即チ第一回目ノ内鞘ノ外側デ第二回目ノ形成層ガ出來タモノデアル其他ニハ大シテ異ル所ハナイ

○海濱砂場ノおにしばニ三種アル

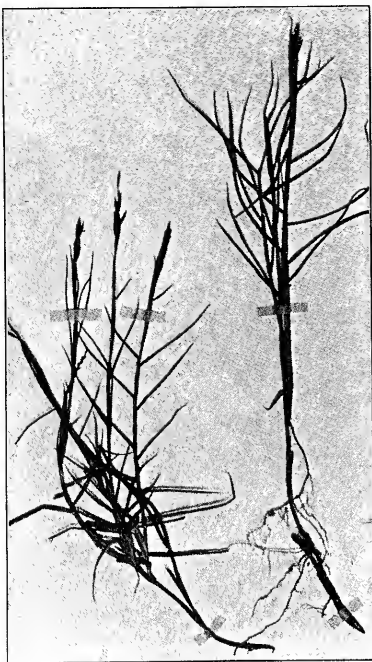
東京帝國大學理學部植物學教室 理學士 本田正次。



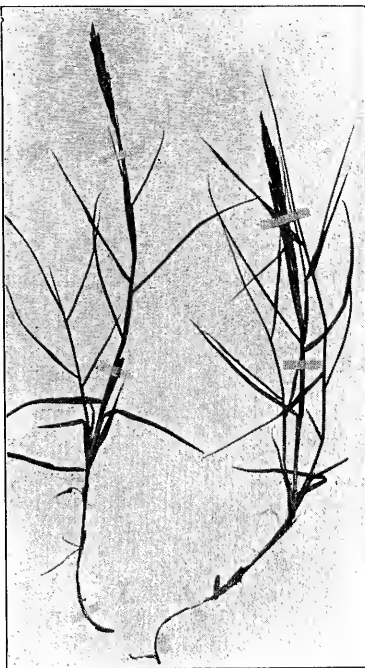
おにしば

(*Zoysia macrostachya* FRANCHET
ET SAVATIER)

おにしば (*Zoysia macrostachya* FRANCHET ET SAVATIER) ハ本州四國九州ノ海岸砂地ニ自生スルしばノ一種大形ノモノデ匍匐莖ハ長ク砂中ニ擴ガリ節々カラ根ヲ下シテ葉ハ普通ノしばヨリ剛ク尖リ莖ニ殆ンド直角ヲナシテ出テ居ル、夏ノ頃莖ノ先端ニ長橢圓形紫褐色ノ總狀花序ヲシタ花穗ヲ出シテ開花スルガ花梗ガ短ク一番上ノ葉鞘ハ總苞ノ様ナ形ヲシテ服ミ花穗ノ下部ヲ包ンデ居ルノデ普通ノしばノ



こおにしば
(*Zoysia liukuensis* Honda)



ながみのおにしば
(*Zoysia sinica* Hance)

様ニ花梗ガ全然見エルト云フ事ガナイ、恐ラ
クしば屬中デ花梗ガ一番太ク其ノ恰好ガ丁度
達磨ノ太イ首筋ガ衣ノ襟ニ埋レテ居ル様ニ似
テ居ルカラ面白イ、上ノおにしばガ我が國ニ
産スル事ハ既ニ周知ノ事實デアルガ茲ニ一種
コレ迄おにしばト間違ハレテ居タリ葉ノ細ク
テ柔イかうらいしばト一緒ニサレタリシテ居
タモノガアル、其ハ最近中井博士ノ御蔭デ明
カトナッタモノデアルガ古ク Lud. Savatier
ガ横須賀ヤ富士山麓デ探ツテ居ルコトガ記録
ニ出テ居ル、其ノ形ヲ一口ニ云フトおにしば
ノ全形ヲ細長ク引キ伸シタモノデアル、其ノ
爲ニ葉ハ水平カラ斜上ニ着キ小穂モ花穂全體
モ亦細長イ正ニ達磨ノ頭ヲ擱ンデ襟ノ所カラ
長ク引キ伸シタモノデ尖頭ノ福祿壽ニ早變リ
シタ形デアル、此ノモノモおにしば同様ニ海
濱ノ植物デアルガ殊ニ河口ナドノ様ナ多少水
濕ノ地ニ好ンデ群生スル性質ガアル、中井博
士ノ研究ノ結果判明シタ前記 Savatier 氏ノ

花屋ノ店先ヲ飾ルふりそてやなぎ

採集地以外私ノ調べタ所デハ松村任三先生ガ上總國一ノ宮デ又二階重樓氏ガ阿波國名東郡沖ノ洲デ採ラレタ標品ガ正シクコノ品ニ該當スル事ガ分ツタ、又朝鮮ノ莞島ニ産スル事モ知ラレテ居ルガ抑々此ノ植物ハ一八六九年 HANCE 氏ガ支那アモイ産ノモノニ *Zoysia sinica* HANCE ト命名シタモノト同一種ダカラ支那朝鮮ノ沿岸カラ九州四國本州ノ海岸ニ沿フテ分布シテ居ルコトガ考ヘラレル、私ハ和名ヲ**ながみのおにしば**ト附ケタガ兎ニ角此ノ我が國デ新ニ世ニ出タ植物ヲ一般ニ紹介スルト同時ニ今後同好ノ諸君ガ本品ヲ採集シテ其ノ產地ヲ學界ニ報告サレンコトヲ希望シテ置ク次第デアル、モ一ツおにしばニヨク似タモノデ琉球ニ産スルモノハ丁度おにしばトながみのおにしばトノ中間形ト云ツテモイ、位葉ノ附キ方ト云ヒ花穂ノ長サヤ太サト云ヒ全ク其ノ中庸ヲ得テ居ル、此品ニ對シテハ**こおにしば** (*Zoysia lukuiensis* Honda) ト云フ名ヲ附ケテ置イタカラ序ニ注意ヲシテ戴キ度イト思フ、最後ニ參考トシテ以上三ツノ區別ノ檢索表ヲ掲ゲマスカラ寫眞ト比較シテ御覽下サイ

花穂ハ太ク稍橢圓形、小穂ハ長橢圓形デ幅二・五「ミリメートル」、花梗短ク、葉ハ廣クテ
 一 甚シク開出……………おにしば

花穂ハ細ク線狀橢圓形又ハ長橢圓形、小穂モ同形デ幅一・五乃至二「ミリメートル」、葉
 ハ稍狹ク斜上開出又ハ稍横ニ開出……………二

二 花穂並ニ小穂ハ長橢圓形、花梗ハ稍短ク、葉ハ狹ク稍横ニ開出……………こおにしば
 花穂並ニ小穂ハ線狀橢圓形、花梗ハ短ク、葉ハ稍廣ク斜上ニ開出……………ながみのおにしば

○花屋ノ店先ヲ飾ルふりそてやなぎ

東京帝國大學理學部植物學教室 理學士 木 村 有^{アリ} 香^カ

冬カラ春先ヘカケテ東京ノ花屋ノ店頭ヲ飾ル柳ニハさぬやなぎ、こりやなぎナドガ最も普通ニ見ラレルガソノ